

週刊 鋼構造ジャーナル

2018
4/30 NO. 1872

週刊(毎週月曜日発行)・購読料・1カ年49,500円、6ヵ月27,000円(税・送料とも)／昭和55年9月26日第三種郵便物認可／発行所・株式会社 鋼構造出版／発行人・田中貴士 編集人・大船登／本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三忠ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 / 大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) F A X 06(6536)7603 / 札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7656 F A X 011(873)3636 / 振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 / 郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 鐵建(群馬)を工場見学／東京鉄構工業協同組合……………(2面)
- 新支部長に山本氏を選出／全構協・中国支部……………(3面)
- 武田委員長(東京)が留任／全構協・関東支部運営委……………(5面)
- 船山氏が旭日双光章／国交省・春の叙勲……………(5面)
- 日形鋼は横ばいの8万3千円／4月物調価格調査……………(6面)
- 新社長に高田常務が昇格／横河ブリッジ……………(8面)
- 連載・鉄骨技術フォーラム②⑥／工場認定制度……………(10面)
- 連載・現場溶接ロボットの現状④／大成建設……………(11面)
- 特集／現場溶接……………(12～18面)
- 関東版……………(20面) ● 中部版……………(21面)

32ページ



①稲森会長②新会長に選出された中原氏③第14期役員
④米森全構協会長(前列右2人目)らが来賓として出席⑤通常総会のもよう

全青会 広島で第27回全国大会 第14代会長に中原氏(奈良)

全国から300名が集う

「平和と新たな時代へ原点
回歸」をスローガンに掲げ
た全国鐵構工業青年部連合
会(略称・全青会、会長Ⅱ稲
森一博・双葉鉄工建設専務、
構成員数964名)の第27回
全国大会が21日、関係者約3
00名参集のもと、広島県広
島市の広島国際会議場で盛大
に開催された。

通常総会では、任期満了に
伴う役員改選が行われ、新会
長に中原稔氏(奈良県)を選
出した。同会14代目の会長で、
近畿ブロックからの会長選出
は4人目となる。

当日は全構協の米森昭夫会
長、齊藤眞専務理事、地元・
全構協中国支部の各県理事長
らも来賓として列席。通常総
会のほか、全国会長会議や広
島工業大学の清水斉教授によ
る「経験の数値化」をテーマ
とした研修会などが行われた。

また、副会長に成澤則充
(北海道)、守谷悟(岡山
県)の2氏を選任。なお、役
員数は前期14名だったが、今
期は規約の定数内で減員し、
全国9ブロック各1名に会計
担当者を加えた計10名体制へ
とスリム化した。

席上、中原新会長は、今年
度のスローガンを「信頼と絆
鉄骨バカへの一本道」と
することを発表し、「青年部
には卒業という区切りがある
が、その短い時間で信頼と絆
を育み、全国に、鉄骨につけ
る熱い、熱い想いをぶつける
一本道を作り上げ、全構協の
場で活かせるようになってい
ただきたい。その実現に向け
て今年度の全青会は変化す
る」と所信を述べた。